



日本医療機能評価機構認定病院

医療法人光洋会



赤間病院

広報誌 No.300

こうよう

2024年

5月

- 《理念》・健康を守る様々な活動を通して地域の方々に必要とされ、信頼感を得て社会貢献することの出来る病院を目指します。
- ・予防医療から慢性期医療、介護、福祉に至るまで、切れ目のないサービスを提供し、地域包括ケアの実現に努めます。



《 東洋のナイアガラと呼ばれる原尻の滝（大分県豊後大野市） 撮影：吉井 千春 》

高齢者の排尿障害と対策

排尿障害とは何らかの原因で排尿しにくくなる状態のことです。高齢者の排尿障害は、生活の質（クオリティオブライフ:QOL）を低下させてしまいます。

排尿障害は、“蓄尿障害”と“排出障害”に分類でき、蓄尿障害とは、文字通り「ためておくことができなくなる」障害です。一方の排出障害は、「出すことができなくなる」障害です。

排出障害は大きく分けて、膀胱収縮障害（低活動膀胱）、尿道通過障害があります。中でも前立腺肥大症は、高齢男性の尿排出障害でもっとも頻度の高い原因疾患です。また、高齢者はさまざまな病気を抱えていることによって、その病気に対する複数のお薬を内服している場合があります。それらの中には排尿に影響するものもあり、薬が原因となっていることもあります。

高齢者の排尿障害への対策を検討するためには、まず排尿障害のタイプを知ることから始めます。尿失禁1つとってもさまざまなタイプがありますので、まずはかかりつけの担当医師に相談し、自分の排尿障害のパターンを知ってから、対策を取りましょう。

数年前から「終活」、「エンディングノート」といった終末期を考える書物が書店でも多く見られるようになりました。

自分自身や大切な人の最期を想像したり、考えたりすることは誰にとっても楽しいものではありません。

一方で終末期の在り方については、本人の意思が最優先とされるべきであるとはいえ、本人自身が最期まで治療内容を決められることは稀であり、家族が命の選択をすることも増えています。この現状の中、本人の意向は必ずしも家族に伝わっていない現状が多くあります。そこで、家族や大切な人がその時の判断に困らないように、誰も迎える時間が希望に沿ったものになるように少しずつ話し合ってみてはいかがでしょうか。

エンディングノートとは、自分に『もしも』のことがあったときのために、家族や大切な人に伝えておきたい事をわかりやすくまとめておくのがエンディングノートの役割です。

- ・延命治療についての希望
- ・どこでどのように過ごしたいか
- ・そばにいてほしい人
- ・口から食べられなくなったときの希望
- ・介護についての希望（認知症になったとき）
- ・葬儀の形式と準備 などを記載することができます。



3病棟 看護師 富山多鶴子

新任の外来医師をご紹介します



診療日：火曜日（午後）

出身大学：産業医科大学

医局：第一内科

専門領域：感染症内科、渡航医学、産業医学

趣味：散歩、読書、動画鑑賞

最近の関心事（又は研究中）：無症候性マラリア、昆虫食



内科医師：清水 少一



心臓血管外科：國友 祐希

診療日：木曜日（14時～17時）

出身大学：福岡大学

医局：福岡大学心臓血管外科

専門領域：心臓血管外科一般

趣味：サッカー、フットサル

免疫力アップ～腸内環境を整えましょう～

栄養科だより

色々な食材を摂り、楽しく食事をして免疫力アップにつなげましょう。

◆プロバイオティクス

腸内細菌のバランスを改善する働きを持ち、人体に良い影響を与える微生物のことです。

食品から摂取する有用菌の多くは基本的に腸内に定着しないため、継続的に食べることが大事です。

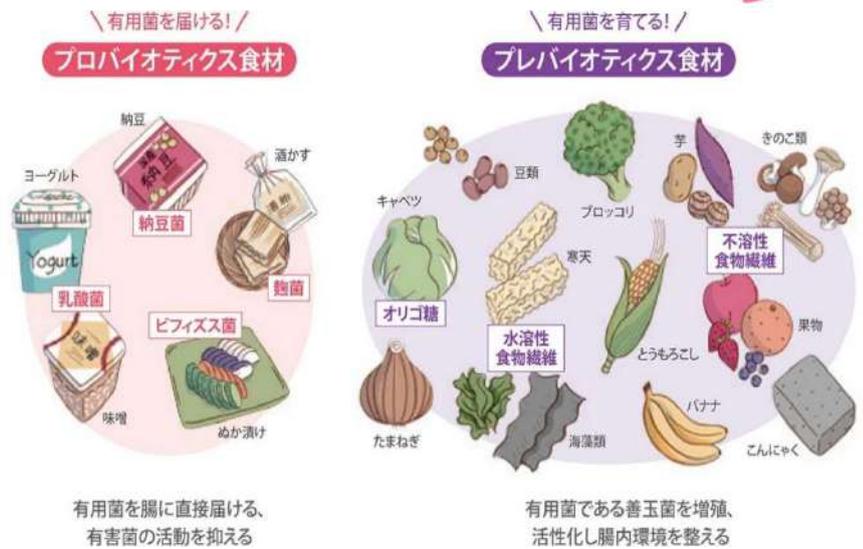
◆プレバイオティクス

食べた後は、そのまま大腸に到達し、腸内細菌を増殖させる働きのある食品のことです。

有用菌の餌となるものを食べる。

※有用菌とは、人に有益な働きをする腸内細菌を有用菌または善玉菌と呼んでいます。

※SUNSTAR 腸のおもしろ話より一部引用



城山庵は「地域密着型」の事業所です

在宅部だより

地域密着型事業所とは、要介護状態になっても住み慣れた地域でできる限り長く生活できるよう創設された介護サービス事業所です。そのため、原則的に住民票が宗像市の方のみが利用できます。

城山庵には通い・訪問・泊りを組み合わせた「小規模多機能居宅介護」と入居し共同生活をしていただく「認知症対応型共同生活介護」があります。小規模多機能居宅介護はその方の介護度や状況に合わせた利用回数を提案しています。

二か月に一度の運営推進会議で地域の方々や利用者のご家族様、知見者の方や市役所職員と情報共有を行い、地域に根差した事業所活動を目指しています。

☆介護の心配事がある方はお気軽にご相談下さい。



城山庵 管理者 清松美雪

TEL:0940-33-8966

看護部長就任のご挨拶

2024年4月より、赤間病院看護部長を拝命致しました。

赤間病院は、保健・医療・福祉の充実を図りながら、地域と有機的に連携することで、共生・共創、地域包括ケアの実現をめざしています。

患者さんの高齢化や重症化、高まるニーズにあった質の高い、患者さんにより安心・安全な医療・看護を提供するために、看護実践力の向上に努めたいと考えております。

一人ひとりが看護者としての倫理と実践力を身につけ、医療チームの一員として貢献し、“自ら考え・判断し・主体的に行動できる看護師”の育成を目指して参ります。

赤間病院看護部では「思いやりの心を大切に安心して信頼できる看護・介護を提供します」と理念を掲げております。「思いやり」とは、患者さんの気持ちに配慮し、患者さんが何を望まれ、どのようなお気持ちかを深く考え、接する・ケアすること、患者さんの身になって考え、推察して気遣いができる看護を提供致します。また、根拠に基づいた適切で細やかな看護、患者さんやご家族に寄り添う看護の実践を目指します。

私は、看護師として「笑顔を忘れない」行動を大切にしてきました。笑顔は「会話」、笑顔には、人を「穏やかな気持ち」や「幸せな気持ち」にする力があります。「笑顔」を意識して仕事に取り組むことを推奨し、ホスピタリティーの向上を図っていきたくと思います。看護師一人一人の心が豊になることにより、自然に、患者さんや、ご家族、地域の方々に心からのほほえみや優しさを表現できるのではないかと考えます。

地域の皆さまに選ばれる病院になるため、看護師一人ひとりが患者さんを敬う気持ちを忘れずに患者さんの心に寄り添う看護を提供できる、そのための環境づくり、組織づくり取り組んでいきたいと思っております。

みなさまの温かいご支援をどうかよろしくお願いいたします。

2024年4月1日

赤間病院 看護部長(認定看護管理者) 井樋 涼子



医療法人光洋会 赤間病院 TEL(0940) 32-2206

★診療科目 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 糖尿病内科 内科 心療内科 放射線科
リハビリテーション科

★診療時間 月曜～土曜 午前9時～12時 午後1時～5時 (日祝日は休診) 〇 当院は敷地内禁煙です

★受付時間 午前8時40分～11時30分 午後1時～5時

※急患の方は、夜間や日祝日も受け付けいたします。どうぞ、お電話のうえご来院ください。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	呼吸器内科	吉井 千春	吉井 千春	城戸 優光	千葉 要祐	吉井 千春 森本 俊規(1週) 千葉 要祐(2週) 根本 一樹(3-5週) 東 泰幸(4週)
	循環器内科	三宅 陽 浦野 久(2-4週)		三宅 陽	三宅 陽	三宅 陽 (1-2-3-5週)
	消化器内科		松永 高志 竹山 泰守	松元 慶亮	松永 高志	樋口 徹(2週) 中崎 美香(3週) 仁田畑 智紀(4週) 松元 慶亮(5週)
	糖尿病内科	高橋 弘幸				高橋 弘幸 (4週)
	内科	○	○	○	○	○
	心療内科		末松 孝文 (診療内科)【予約制】			
午後	浦野 久 (内科・循環器内科)	清水 少一 (内科)	松元 慶亮 (内科・消化器内科)	高橋 弘幸 (内科・循環器内科) 國友 祐希 (心臓血管外科 2時～5時)	黒木 堯宏 (内科・循環器内科)	三宅 陽(1-5週) 吉井 千春(3週) 松永 高志(2-4週)

○印は当日の診療科担当医師で行ないます。

ピンク色は女性医師です。
消化器内科の土曜日(第1週)の担当医は、ホームページにてご確認ください。

地域医療連携室 TEL(0940)32-2304
居宅介護支援センターTEL(0940)32-5224
デイケアセンター TEL(0940)38-0590
訪問看護ステーション TEL(0940)32-3600
吉武・赤間・赤間西
地域包括支援センターTEL(0940)32-2235
赤間病院介護医療院 TEL(0940)39-3870

《関連施設》

城山庵 TEL(0940)33-8966
城山之荘 TEL(0940)36-9004

